

大阪市立豊仁小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では、平成 24 年度から教育目標を「生きる力（確かな学力、豊かな人間性、健やかな身体）の育成」とし、知育、徳育、体育の視点から教育を推進している。

(知育)

全国学力・学習状況調査の結果は、全国平均と比べて有意差は認められないが、学力面で下位層の児童もおり、学力保障の観点から全ての児童に確かな学力を育成することをめざし、その成果として全国・学力状況調査でもよりよい結果が得られるようにしなければならない。

(徳育)

- ① 本校の児童は校内外の規則をよく守っているが、廊下、階段の右側歩行については課題がある。そこで、廊下、階段の右側歩行を規則として意識させ、守らせるように、これまでも指導に取り組んでいるが、今後も取り組む必要がある。
- ② 本校の児童は、朝の校門でのあいさつはよくできているが、登下校中に会った地域の人々や、その他の場面でも自然にあいさつできることをめざす。
- ③ いじめに関しては、未然防止や「アンケート」や日々の観察の中での早期発見に努め、発見後はすぐに解決しているが、今後もいじめの未然防止、早期発見・早期解決に努めることで、いじめを許さない校風を作る必要がある。

(体育・健康)

- 全国体力・運動能力調査結果では柔軟性、俊敏性、投げる力に課題が見られた。ただし、課題は年度によって異なる。
- 正しい姿勢を心がけることで、背骨のまわりの筋肉を鍛え体の中心を強くする。
- 食は、健康の基本であり、本校では従来より食育を重点的に取り組んでいる。

(特別支援教育)

- 特別支援学級に在籍する障がいのある児童、通常学級に在籍しているが課題のある児童とともに学ぶ、ノーマライゼーションの推進に向けての教育を進める。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成 32 年度末の校内調査「いじめについてのアンケート」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 100%にする。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 95%以上にする。
- 平成 32 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を 0 件にする。
- 平成 32 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を平成 28 年度より減少させる。
- 学校アンケートにおいて、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合が目標値を上回る。
「友だちや先生とあいさつしている。」 目標値 95%
「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思いますか。」 目標値 95%
「困っている人がいたら助けてあげたいと思いますか。」 目標値 95%

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、105 以上にする。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 5.4 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 2 ポイント減少させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における正答率 7.5 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成 28 年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、平成 28 年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 32 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標(小・中学校)

- 平成 29 年度末の校内調査「いじめについてのアンケート」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校の年度目標

- 学校アンケートにおいて、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合が目標値を上回る。
「友だちや先生とあいさつしている。」 目標値 95%
「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思いますか。」 目標値 95%
「困っている人がいたら助けてあげたいと思いますか。」 目標値 95%

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標(小・中学校)

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと)
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 5.4 割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 7.5 割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より 3 ポイント向上させる。
- 学校アンケートにおいて、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を次の目標値を上回る。
「1 日 1 回以上、手を挙げて発表できている。」 目標値 80%
 - 中学校教員と連携して、計画的に授業を行う。
 - 姿勢について、点検カードの達成率が 55%を上回る。
 - 食事マナーについてのアンケートにおいて、「はい」と答えた児童の割合が 80%を上回る。(はしを正しく持つ・よい姿勢で食べる)

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立豊仁小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成29年度末の校内調査「いじめについてのアンケート」において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を95%以上にする。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○学校アンケートにおいて、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合が目標値を上回る。</p> <p>「友だちや先生とあいさつしている。」目標値95%</p> <p>「人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいと思いますか。」目標値95%</p> <p>「困っている人がいたら助けてあげたいと思いますか。」目標値95%</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>副読本の順序に従って、道徳の時間を確実に実施する</p> <p>指標 副読本の順序に従って、35時間(1年生は34時間)実施する。 (道徳ノートで確認する)</p>	
<p>取組内容②【施策2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>特別支援を要する児童と周りの児童がともに活動・交流しながら理解し合い学ぶ機会をもつ。</p> <p>指標 月に2～3回実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>ろうか階段の「右側歩行」を守れるようにする。(年間を通して指導する)</p> <p>指標 右側歩行に関する取り組みを進める。</p>	
<p>取組内容④【施策1、安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>いじめ防止基本方針に従って取り組みを確実に行う。</p> <p>指標 チェックシートによる点検を年3回行う。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

(様式2)

大阪市立豊仁小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した C: 取り組んだが目標を達成できなかった	B: 目標どおりに達成した D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ100となるよう標準化した得点のこと)</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率5.4割以下の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率7.5割以上の児童を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○平成29年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より3ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○学校アンケートにおいて、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を次の目標値を上回る。</p>	

<p>「1日1回以上、手を挙げて発表できている。」目標値 80%</p> <p>○中学校教員と連携して、計画的に授業を行う。</p> <p>○姿勢について、点検カードの達成率が 55%を上回る。</p> <p>○食事マナーについてのアンケートにおいて、「はい」と答えた児童の割合が 80%を上回る。(はしを正しく持つ・よい姿勢で食べる)</p>	
--	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>授業ごとに「目標（ねらい）」を具体化し、「この時間に何を理解させるのか（何をできるようにするのか）」を明確にして授業に臨む。</p> <hr/> <p>指標 教職員評価育成システム「自己申告票(授業力欄)」の設定目標とし、校長が授業の指導と評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書に単元名(主題名)や、めあてが書かれているか。 ・1時間の「目標（ねらい）」が具体的で明確か。 	
<p>取組内容②【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>授業中、教員が説明する時間を減らし、児童が発表する時間が増えるよう、授業展開、学習活動、発問等を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 教職員評価育成システム「自己申告票(授業力欄)」の設定目標とし、校長が授業の指導をする。</p>	
<p>取組内容③【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>国語科、社会科、理科、体育科、図画工作科音楽科において体験、現地見学等の場と質を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科…教科書の関連作品の並行読書 ・社会科…ごみ焼却工場、ピース大阪、環状線一周とハルカスからの市内展望、浄水場、明治工場、大阪府警本部、スーパーライフ、大阪くらしの今昔館、林業体験、ダイハツ工場、高松塚壁画館、池上曾根遺跡、上方落語鑑賞、図書館、読売新聞社 ・算数科…そろばん ・理 科…大阪市立科学館 ・生活科…キッズプラザ大阪、乗車体験、たこあげ、校区探検 ・体育科…スポーツ交歓会 ・音楽科…音楽鑑賞(ジャズ、室内楽、吹奏楽) <hr/> <p>指標 事前・事後の学習で用いた見学ノート等を工夫し子どもの学びを確かめる。</p>	
<p>取組内容④【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>具体的なねらいの設定と評価に重点をおいた研究授業を行い、教員の指導力を向上させる。教員の指導力を高めるための授業研究を行う。</p> <hr/> <p>指標 研究授業及び研究討議会を年8回行う。教員全員が授業研究を行う。</p>	
<p>取組内容⑤【施策5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>中学校教員と連携した授業を行う。</p> <hr/> <p>指標 5・6年生において、年35時間 英語科の授業を実施する。</p>	

<p>取組内容⑥【施策 6、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>通常の体育科の授業において、柔軟性を育む運動を毎時間取り入れる。</p> <p>・ストレッチを含む準備運動や整理運動を効果的に行う。</p>	
<p>指標 体力テストの長座体前屈で 1 月の記録が 5 月の記録を上回る。</p>	
<p>取組内容⑦【施策 6、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>良い姿勢が身につくように指導する。</p>	
<p>指標 姿勢について、点検カードの達成率が 5 5 %を上回る。</p>	
<p>取組内容⑧【施策 6、健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>食事のマナーが身につくように指導する。</p>	
<p>指標 毎週必ず「はしの持ち方」と「よい姿勢で食べる」ことの指導を行う。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	